事業番号	135

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業名	母子保健健康診査事業							担当部	健康福祉部		
会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業			担当課	保健センター		
事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	母子保健係		
総合計画分野別計画 主目的	2 保健・福祉	6 健康づくり	2 親子が健やかに育み合うことを支援します								
総合計画分野別計画 副目的	11-4	14-4							実施計画対象	○	
予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	6	
根拠法令・個別計画	母子保健法										
目的（対象をどの様な状態にするのか）	健やかに成長できるよう、親が子どもの成長について理解し不安なく楽しく子育てができるようにする。										
内容（手段）	◆26年度実施内容 ・妊婦・乳児健康診査 公費負担の妊婦健康診査14回、乳児健康診査2回を医療機関委託にて実施。 ・乳幼児健康診査 乳幼児健診（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）、事後検診、2歳3か月児歯科健診,母親歯科健診を実施。 また、健診の場を利用して育児相談、健康教育も実施した。 上記の事業を実施しながら、子どもの健康状態、成長発達、育児状況を確認し、親が安心して子育てできるよう、寄り添いながら支援した。 国・県支出金（愛知県妊婦健康診査支援基金事業費補助金）について、平成25年4月の妊婦健診受診分から補助が廃止となり、交付税措置となる。 ◆26年度直接経費の内訳 庸人料（6,009千円） 需要費：消耗品・印刷製本費（1,650千円） 役務費：通信運搬費、手数料（1,108千円） 委託料（156,116千円） 負担金（5,318千円）：県外で妊婦・乳児健康診査を受診した場合、対象となる費用を全額補助 ◆27年度直接経費の内訳 庸人料（6,572千円） 需要費：消耗品・印刷製本費（2,203千円） 役務費：通信運搬費、手数料（1,471千円） 委託料（163,513千円） 負担金（6,980千円）：県外で妊婦・乳児健康診査を受診した場合、対象となる費用を全額補助										
受益者負担	無										

コスト

			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費		千円	174,225	160,020	170,201	180,739
	正職員	従事者数	人	3.00	3.00	3.00	3.00
		人件費	千円	15,780	15,780	15,780	15,780
	その他職員	従事者数	人	1.50	2.00	2.30	2.50
		人件費	千円	6,034	9,861	5,457	5,824
	費用合計		千円	196,039	185,661	191,438	202,343
	対前年比		%		94.7	103.1	105.6
財源	一般財源		千円	158,838	179,608	191,438	202,343
	国・県支出金		千円	37,201	6,053	0	0
	その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	135

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	乳幼児健康診査実施回数	回	目標	120	120	120	120
			実績	120	120	120	
	乳幼児健診時健康教育	回	目標	144	144	144	144
			実績	144	144	144	
	事後検診実施回数	回	目標	18	18	18	18
			実績	18	18	18	
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	乳幼児健康診査受診率	%	目標	95	95	95	95
			実績	96.0	98.5	97.3	
			目標				
			実績				

事業の自己評価				
	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	子どもの健康状態や成長発達を確認したり、育児支援を主眼とした乳幼児健診や事後検診を目標どおり達成することができた。また受診勧奨に努め、乳幼児健診の受診率も97.3%と目標を上回った。	
		事業実施における課題	受診率は、目標を達成することができているが、今後は100%により近づけるように、さらに受診勧奨に努める必要がある。また、「健診に来てよかった」「また、相談したい」と思える保健センターであり続けられるよう、スタッフ間の意識統一を常に図っていく必要がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	母子保健健康診査事業を縮小・廃止すると、子どもの健康状態や成長発達を促したり、育児支援を継続的にする機関がなくなり、疾病や成長発達について発見が遅れたり、適切な時期に育児支援をすることができなくなる恐れがある。	
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	今年度も引き続き受診勧奨に努め、子の成長発達を親と共に確認し育児支援を実施していく。 また、健診カンファレンスを毎回開き、「健診に来てよかった」「また、相談したい」と思える保健センターであり続けられるよう、スタッフ間の意識統一を常に図っていく。また、必要に応じて継続的な支援につなげていく。	
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの （対象や手段を見直す場合も含む）
		判定理由	健診等を目標どおり達成することができ、一定の成果をあげることができた。今後も現状の成果を維持したまま子どもの健康状態や成長発達を確認したり、育児支援を継続的にしていく必要があるため。	
		28年度以降の改善案	今後も受診勧奨に努めると共に育児支援に力を入れていく。 「健診に来てよかった」「また相談したい」と思える保健センターであり続けられるよう、スタッフ間の意識統一を常に図るため、健診カンファレンスにおいて、毎回積極的に意見交換をしていく。 また、必要に応じて継続的な支援につなげていく。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。